

●東京湾のカワハギはこれからがハイシーズン

▶当日狙ったのは竹岡沖の水深14〜27メートル

東京湾のカワハギ順調 水温低下後はさらに安定か

東京湾奥金沢八景出船

撮影●鈴木良和



◀親子でカワハギ、いいですね

▼付けエサはアサリ。コンパクトに付けることを心がけよう



●当日はオモリ30号を中心に使った



●ロングハリが効いた?



●どう食わせるかが腕の見せどころ



▲大型は26〜27センチ。尺サイズにも期待できる



●ヒギナーからベテランまで楽しめる釣りだ



●浅場では小型が多くなる



▲サバフグも多いので仕掛けの予備は多めに準備したい

（詳細は56ページ参照）
東京湾のカワハギが今年も順調だ。釣果はポイントや釣り人のテクニクによっても変わってくるが、いい日はトップで20〜30枚ほど釣れている。メインとなる釣り場は竹岡沖で、水深は15〜25メートル前後。取材日は最初に浅場を狙ったが外道の活性が高く深場へ移動。こちらは外道の活性が高くなかったもののカワハギの活性も今一つ。ただし釣れば20センチ前後と良型主体で引き味は十分楽しめた。今後水温が低下すれば広範囲に散っていた群れも固まり、今以上に安定した釣果が期待できるだろう。慣れない人は、まずは5枚を目標に頑張ってみよう。

KAWAHAGI



●東京湾奥金沢八景・新修丸 安里 航太船長